

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 7月30日

議 会 議 長 様

議席番号 6 番

議員氏名 栗原 偉 憲

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 誰もが投票しやすい町に	<p>先日の参議院議員通常選挙において、様々な意見を町民より頂きました。投票所が遠い・不便と感じさせない環境整備を行うことは、まちの暮らしやすさにつながることを考えます。</p> <p>実際に近隣自治体では、商業施設など身近な場所を期日前投票所に活用しています。何もない町だからこそ、投票率No. 1を目指すのはいかがでしょうか。そこで当町における今後の取組を伺います。</p> <p>(1) 役場以外での期日前投票所の設置については検討されているのか。</p> <p>(2) 現在の投票区の区割りはどのように決定したのか。</p>	町長 副町長 選挙管理委員会書記長
2. 広報紙等の配布方法の課題は	<p>町民との情報共有のかなめとなる「広報すぎと」をはじめ、様々な配布物は、現在、多くの行政区で班長により配布や回覧によって届けられています。しかし近年、配布を担う人材の高齢化や担い手不足などが指摘されています。そこで、広報紙等の配布方法の現状と課題について伺います。</p>	町長 副町長 住民協働課長 担当課長

7月30日 午前・午後 8時33分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>3. 杉戸町公共施設等総合管理計画の内容は</p>	<p>杉戸町においては、現在、公共施設の老朽化が急速に進んでいます。その中で、施設の更新費用や維持管理費が今後、中長期的に財政運営へ大きな影響を及ぼすことは明白です。令和4年3月に改訂された同計画においては、「公共施設（ハコモノ）にかけることができる更新費用は計算上、30.1%分の更新費用しか確保することができません」と明記されています。</p> <p>その様な状況において、「更新コスト・運用コスト・住民ニーズ」の三位一体の視点で意思決定されているとは言い難い状況にあります。</p> <p>特に、学校施設以外の施設においては、「集約」や「再編」の議論が進んでいる様子は見られません。また、環境センターは改修工事中ですが、15年間の延命措置です。その後の在り方についても方向性は示されておらず、このままでは、必要な財源がさらに逼迫し、町の持続可能性そのものが危ぶまれます。そこで、以下の点について、町長に伺います。</p> <p>(1) 町長として、逼迫する財政の中で、更新費用の不足額をどのように解消していく考えなのか。</p> <p>(2) 町長就任からこれまでの3年間、町長は個別施設計画や財政面に対して、どのような指示を出してきたのか。</p>	<p>町長 副町長 総合政策課長 管財契約課長 担当課長</p>